

「県立高等学校教育課題研究指定校事業」～未来を担う人材の育成を目指して～

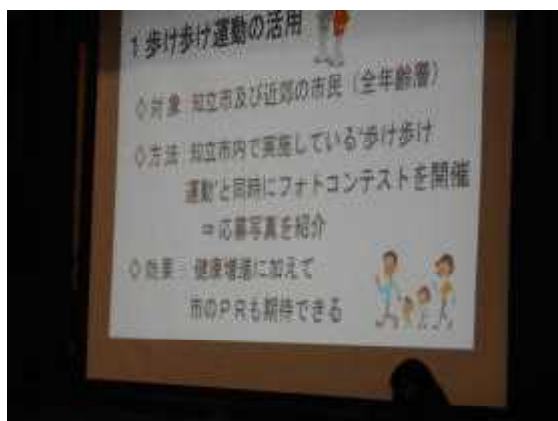
10月19日（金）本校体育館にて総合的な学習の時間「地域課題について考える」講演会を行いました。当日は、講師として知立市役所から「知立市まち・ひと・しごと創生若手職員プロジェクト」メンバーの、企画政策課の山本和弘さん、長寿介護課の浜口鴻太さん、子ども課の笈川真理子さんにお越しいただきました。

講演に先立ち、夏休みに知立市役所でインターンシップを体験した生徒が、インターンシップの報告と知立市を活性化させる方策を提言しました。内容は写真を利用した知立市のPRというものでした。生徒の提案に対してこれまでの知立市の取組をもとに、講師の方に効果や実現に当たっての問題点を指摘していただきました。

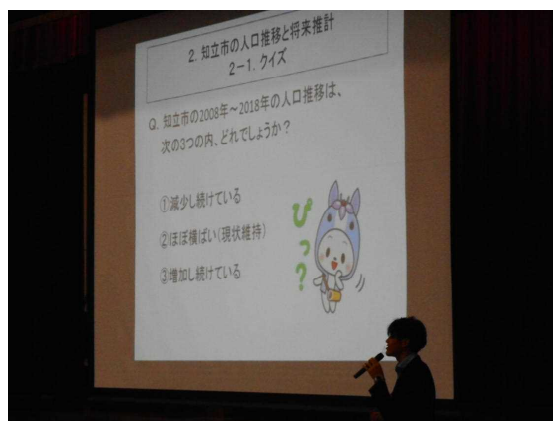
講演は、知立市が取組んでいる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて、知立市が行っている施策を説明していただきました。知立市の人口ビジョンが示された後に、2060年まで人口7万人を維持し、年齢構成の若返りめざすためにどのような取組を行っているかという内容でした。

大変わかりやすい説明で、生徒も知立市の問題及びそれを解決するための知立市の取組について理解することができました。

この講演会を出発点として、約一ヶ月にわたり2・3年生の総合的な学習の時間「地域課題について考える」において、知立市の課題の解決策を考え、「みんなが笑顔になれる知立市のまちづくり」のための方策をまとめます。そして、その成果をもとに11月20日（火）に全校生徒で「知立市の未来を考えるシンポジウム」を行い、知立市のまちづくりについて考えていきます。



（生徒発表の様子）



（講演会の様子）